

# 【変更版】新型コロナウイルス YBBL感染予防対策ガイドライン

## 1 はじめに

本ガイドラインは、「新型コロナウイルス」感染予防のために、チームの皆様（監督・コーチ・選手・スタッフ・応援者）ならびに『大会運営に携わる全ての皆様に順守いただきたいこと』等をまとめておりますので、ご確認いただきますようお願い致します。

**最後に参加チームは「誓約書」がありますので内容を確認／サインし『必ず初戦で各ブロック長に提出』してください。**

なお、本ガイドラインは、「J S B B感染予防対策ガイドライン」および現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後の知見集積及び各地域の感染状況を踏まえて、見直すことがあります。また、チーム活動での大会参加の判断に迷われた際は、区代表又は理事へご一報ください。（区代表又は理事は内容をまとめて副理事長へ速やかに連絡すること）

## 2 活動全般への注意事項

### （1）大会参加やチーム活動

- ①活動によってクラスター発生・感染拡大が生じないように、日頃から感染予防対策を徹底すること。
- ②軽微な症状でもウイルスを保持し、他者へ感染させる可能性があります。軽い感冒（風邪）の症状を見逃さないことが大切です。熱中症と風邪の症状、感染症状は似ています。従って体調がおかしいと感じたら「積極的に休むこと」が大切です。
- ③日常的にチーム内の選手スタッフの健康チェックのみならず、選手、スタッフのご家族の健康状況に変化が無いかについても情報収集を心がけ、チーム内でクラスターが発生しないように注意を払ってください。

### （2）マスクの着用

- ①人との距離横1m、前方2mの距離が取れない場合はマスクを着用のこと。
- ②日常的にマスクを着用し、移動中の着用にも努めること。
- ③マスクを外さざるを得ない場合には、ソーシャルディスタンス（2m）が保たれていない状況下での会話・声掛け・大声は控えること。
- ④競技中の選手間のコミュニケーションのための声掛け、発声については相手との距離や飛沫を考慮し、一程度の距離を保つことや、向き合わないなどの工夫をする。
- ⑤選手はグラウンド内の練習・試合等においては上記①の距離、間隔を十分にとるように配慮すれば、活動中、選手はマスク不要とする。  
また、熱中症予防のため基本距離を置いて会話せずにマスクを外すことも推奨する。

⑥選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用すること。また、試合時の攻守決定の際や選手変更・交代の申し出、大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用して行うこと。

### (3) 消毒

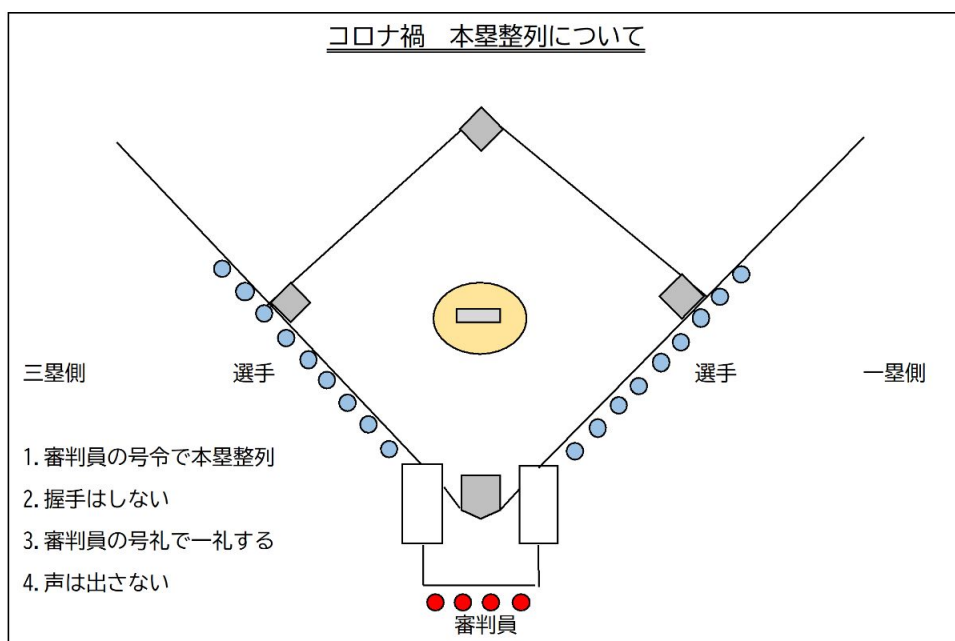
- ①こまめな手洗いと手指消毒を行うこと。
- ②各チームで消毒液などを常備しておくこと。
- ③試合後のベンチや椅子など備品については当該チームで消毒を行い、退場のこと。

### (4) 健康チェックシートの提出

- ①大会当日、参加者全員の健康状態と連絡先などが明記されている、「**Y B B L 健康チェックシート**」を試合日ごとに毎回提出すること。
- ②参加者は全員検温しその体温を記録して会場に来ること。
- ③ブロック長又はグラウンド責任者は提出された「Y B B L 健康チェックシート」最低でも大会が終了するまで保管し、指示があった場合には速やかに応えるようにしておくこと。

## 3 大会中の注意事項

- (1) チームは各ブロック又はグラウンド責任者の指示や注意事項に従い、迷惑などを掛けないように心掛けること。特に応援者、選手の家族（父母、兄弟、おじいちゃん、おばあちゃんなど）にも、ブロック又はグラウンド責任者からの連絡事項を徹底的に伝達し、遵守してください。
- (2) 健康チェックシートを作成し、大会当日に提出すること。大会運営スタッフや審判員にも「Y B B L 健康チェックシート」による、検温・アルコール消毒・記録を行う。
- (3) 球場入場前に来場チーム全員の検温、アルコール消毒を実施し、提出された「Y B B L 健康チェックシート」に記録する。
- (4) 大会開催の際は、試合間のインターバルを通常より長く設定し、ベンチ内の消毒などを行うこと。また、チームの入れ替え時には、選手ならびに関係者が密集しないようにすること。
- (5) 選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮すること。例えば、試合前の整列・挨拶については、感染予防の観点から工夫すること。



(6) 応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するようする。応援者には、検温の実施や「Y B B L 健康チェックシート」の記入を求めるなどの対策を講じるようにすること。

※施設の状況や観客同士の一定の距離を保つことが難しい場合や、大会開催時の情勢により無観客での大会実施なども検討する。その場合は出来るだけ早めに参加チームに周知する。

以下の表は応援方法の可能例（○）、禁止例（×）である。

拍手	○
通常の声援	○（大声や両手をメガホン代わりに使うことは禁止）
ハイタッチ	×（手が触れなければ可）
鳴り物の応援	×（ラッパ等の鳴り物を使用しての応援は禁止）
指笛の応援	×
ホイッスル等の鳴り物応援	×
メガホンを打ち鳴らし乍らの声援	×（歓声を抑えてメガホンを打ち鳴らすことは可）
肩組等集団での動きを伴う応援	×（チアリーディングによる応援も不可）

(7) 試合終了後は密を避けるために、試合後のミーティングは禁止とし、応援者も含め速やかに会場から退場すること。

## 4 新型コロナウイルスの対応について

ここでは、当該チームの大会試合期間中における対応（感染者との接触、濃厚接触者、陽性者、チームへの）を示したものであり、『回復期間』や感染後のチームへの合流やチーム活動再開など具体的な対応や行動は、保健所の指示によるものとする。

また、試合に敗戦し大会終了となったチームでも、敗戦後1週間以内に陽性者が出た場合には、陽性判定2日前に遡り接触特定が行われる可能性があることから、速やかに区代表又は理事へ報告のこと。

### (1) 感染疑い、感染者の対応について

連盟は、出場チームが十分な『回復期間』が確保されない場合は、原則として出場禁止または参加資格を取り消すことができる。

『回復期間』について

- ①新型コロナウイルス感染症と診断されたものは、当該地域保健所が指示する新型コロナウイルス感染症の療養完了日まで、指定場所で療養する。
- ②チーム内で新型コロナウイルス感染症と診断されたものが出た場合、発症日症状が出た前日または前々日にチーム活動があった場合には、チーム関係者は感染可能期間に陽性者と接触していることから、濃厚接触の状況を保健所と確認し、状況把握が完了するまでチーム活動を自粛することを推奨する。

③前日、前々日とチーム活動がなかった場合48時間以上接触がないといえる場合、他に体調不良者が存在しないことを確認後、チーム活動を再開しても構わないが、その後体調不良者や感染を疑う症状者が出た場合には、状況把握が完了するまでチーム活動を再休止することを推奨する。

(2) 審判員ならびに大会役員、大会関係者について

①試合が行われた後に出場チームまたはチームスタッフ内に新型コロナウイルス感染症の疑いが発生した場合、接触状況によっては担当審判員も感染の可能性があることを理解することが大切である。

②担当審判員は、感染疑い者が新型コロナウイルス感染症の可能性を否定されるまで、もしくは感染疑い者が新型コロナウイルス感染症と診断された場合には、濃厚接触者の特定が完了されるまで、審判活動を自粛する。

③連盟は、出場チームに感染者が発生した場合、出場チームだけでなく審判員の情報共有も必ず行うこと。

④審判員に感染疑い者が発生した場合、審判クルー及び試合が行われた両チームに報告の上、接触状況からチーム関係者への感染が疑われるもしくは濃厚接触者に該当する等、安全性が確保されない場合に両チーム勝利して次戦試合があるチームも含むに出場辞退、棄権を勧告し、または参加資格を取り消すことができる。

⑤大会役員、大会関係者に感染疑い者が発生した場合、行動記録を確認し、選手やチーム関係者ならびに審判員との接触有無および濃厚接触該当するかを確認し、大会継続可否を判断する。

## 5 連盟本部への報告について

(1) 大会期間中に参加しているチーム関係者に陽性者が判明した場合は、当該チームの代表者は、活動停止措置をとり、速やかに区代表又は理事へ報告のこと。

(区代表又は理事は内容をまとめて副理事長へ速やかに連絡すること)

## 6 大会中止の検討、出場辞退勧告

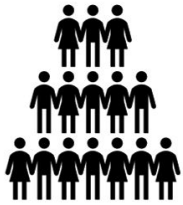
- (1) 連盟として、事業・活動の継続可否判断は「参加チーム選手、チームスタッフ、審判員、大会運営者・関係者の安全確保が最優先」であり、連盟が総合的な判断をもって行う。
- (2) 関係する自治体や小学校が感染拡大を懸念し、以下の措置判断をした場合は事業・活動を中止することを検討する。
  - 例1) 行政からの緊急事態宣言が発令された場合
  - 例2) 横浜市の小学校に対する休校措置が発令された場合
- (3) 出場チームに感染疑いが生じて、安全性の判明が間に合わない場合は、出場辞退を勧告する場合がある。
- (4) 大会中に出場チームに新型コロナウイルス感染症を考慮する症状を有する者が生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消す場合がある。
- (5) 大会までに陽性者の回復、濃厚接触者の隔離期間解除がなされない場合は、出場禁止または参加資格を取り消す場合がある。

## 7 プライバシーの保護

- (1) 活動の停止や大会参加への自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間での誹謗中傷の防止に努めること。
- (2) 連盟本部及びブロックは、個人が特定されないよう情報管理（体調不良者/感染疑い者/感染者など）を行うこと。

# ～ 試合当日の流れ ～

出発前



健康確認、体温測定  
健康チェックシート  
記録



移動



会場到着  
ブロック受付



健康チェックシート提出

ブロック長  
グラウンド責任者



体温測定と記録

消毒



手指の消毒

グラウンドイン



試合終了



ベンチなど消毒

退場



速やかに

横浜市小学生野球連盟 殿

第        ブロック長 殿

## 誓 約 書

大会に参加するにあたり、下記のことを遵守することを誓約致します。

### 記

- 1 ブロック長又はグラウンド責任者からの注意事項を遵守します。
- 2 Y B B L感染予防対策ガイドラインを遵守します。
- 3 暴力、暴言、体罰は行いません。
- 4 応援者を含め、相手への野次や威圧するような行為は行いません。
- 5 上記を遵守できない場合、出場辞退勧告や除名処分など連盟本部の指示に従います。

以上

年 月 日

第        ブロック

チーム名：(            区) \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_